

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

【薬品名】	イブリーフ静注 20mg
【英名】	Ibuprofen L-Lysine
【規格・含有量】	1バイアル(2mL)中 イブプロフェン L-リシン 34.18mg(イブプロフェンとして 20mg)を含有
【一般名】	イブプロフェン L-リシン
【メーカー名】	千寿
【薬価収載日】	2018年4月
【薬価】	1瓶 13,235円
【薬効コード】	2190
【薬効分類名】	未熟児動脈管開存症治療剤
【効能・効果】	下記疾患で保存療法(水分制限、利尿剤投与等)が無効の場合 未熟児動脈管開存症
【用法・用量】	通常3回、イブプロフェンとして初回は10mg/kg、2回目及び3回目は5mg/kgを15分以上かけて24時間 間隔で静脈内投与する。

【薬品名】	ミチーガ皮下注用 30mg バイアル	劇・生物 市販直後調査 2024年6月~2024年12月
【英名】	Nemolizumab (Genetical Recombination)	
【規格・含有量】	1バイアル中 ネモリズマブ(遺伝子組換え) 51.2mgを含有	
【一般名】	ネモリズマブ(遺伝子組換え)	
【メーカー名】	マルホ	
【薬価収載日】	2024年5月	
【薬価】	1瓶 67,112円	
【薬効コード】	449	
【薬効分類名】	ヒト化抗ヒトIL-31受容体Aモノクローナル抗体	
【効能・効果】	既存治療で効果不十分な下記疾患 ○アトピー性皮膚炎に伴うそう痒 ○結節性痒疹	
【用法・用量】	〈アトピー性皮膚炎に伴うそう痒〉 通常、6歳以上13歳未満の小児にはネモリズマブ(遺伝子組換え)として1回30mgを4週間の間隔で皮下 投与する。 〈結節性痒疹〉 通常、成人及び13歳以上の小児にはネモリズマブ(遺伝子組換え)として初回に60mgを皮下投与し、以降 1回30mgを4週間の間隔で皮下投与する。	

詳細は添付文書等をご参照ください。

(薬品名)	オルツビーオ静注用 3000	生物
(英名)	Efanesoctocog Alfa (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1 バイアル中 エファネソクトコグ アルファ(遺伝子組換え)3000 単位を含有	
(一般名)	エファネソクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	サノフィ	
【薬価収載日】	2023 年 11 月	
【薬価】	1 瓶 594,512 円	
【薬効コード】	6349	
【薬効分類名】	von Willebrand 因子非依存型遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子製剤	
【効能・効果】	血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制	
【用法・用量】	<p>本剤を添付の溶解液全量で溶解し、緩徐に静脈内に投与する。出血時又は周術期に投与する場合、通常、1 回体重 1kg 当たり 50 国際単位を投与する。なお、投与量は患者の状態に応じて適宜減量する。</p> <p>定期的に投与する場合、通常、体重 1kg 当たり 50 国際単位を週 1 回投与する。</p>	

(薬品名)	オビザー静注用 500	生物 市販直後調査 2024 年 6 月～2024 年 12 月
(英名)	Susoctocog Alfa (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1 バイアル中 スソクトコグ アルファ(遺伝子組換え)500 単位を含有	
(一般名)	スソクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	武田	
【薬価収載日】	2024 年 5 月	
【薬価】	1 瓶 268,509 円	
【薬効コード】	6349	
【薬効分類名】	遺伝子組換え型ブタ配列血液凝固第Ⅷ因子製剤	
【効能・効果】	後天性血友病 A 患者における出血抑制	
【用法・用量】	<p>本剤を添付の日本薬局方注射用水 1mL で溶解し、緩徐に静脈内に注射する。</p> <p>18 歳以上の患者には、初回投与量は体重 1kg 当たり 200 単位とする。その後は、出血の程度に応じて、血液凝固第Ⅷ因子活性や患者の状態を確認しながら投与量と投与頻度を調節する。</p>	

詳細は添付文書等をご参照ください。

【薬品名】	レキサルティ OD 錠 0.5mg	劇 市販直後調査 2024 年 9 月～2025 年 3 月
(英名)	Brexiprazole	
(規格・含有量)	1 錠中 ブレクスピプラゾール 0.5mg を含有	
(一般名)	ブレクスピプラゾール	
(メーカー名)	大塚	
【薬価収載日】	2021 年 11 月	
【薬価】	1 錠 128.70 円	
【薬効コード】	1179	
【薬効分類名】	抗精神病薬	
【効能・効果】	<p>○統合失調症</p> <p>○うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る)</p> <p>○アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動</p>	
【用法・用量】	<p>〈統合失調症〉</p> <p>通常、成人にはブレクスピプラゾールとして 1 日 1 回 1mg から投与を開始した後、4 日以上の間隔をあけて増量し、1 日 1 回 2mg を経口投与する。</p> <p>〈うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る)〉</p> <p>通常、成人にはブレクスピプラゾールとして 1 日 1 回 1mg を経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、1 日量 2mg に増量することができる。</p> <p>〈アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動〉</p> <p>通常、成人にはブレクスピプラゾールとして 1 日 1 回 0.5mg から投与を開始した後、1 週間以上の間隔をあけて増量し、1 日 1 回 1mg を経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、1 日 1 回 2mg に増量することができるが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて行うこと。</p>	

詳細は添付文書等をご参照ください。

(薬品名)	ヌーカラ皮下注 100mg ペン	劇・生物 市販直後調査 2024年8月～2025年2月
(英名)	Mepolizumab (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1筒(1mL)中 メポリズマブ(遺伝子組換え)100mgを含有	
(一般名)	メポリズマブ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	グラクソ・スミスクライン	
【薬価収載日】	2020年5月	
【薬価】	1筒 159,891円	
【薬効コード】	229	
【薬効分類名】	ヒト化抗IL-5モノクローナル抗体	
【効能・効果】	<p>○気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)</p> <p>○既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症</p> <p>○鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る)</p>	
【用法・用量】	<p>〈気管支喘息〉</p> <p>通常、成人及び12歳以上の小児にはメポリズマブ(遺伝子組換え)として1回100mgを4週間ごとに皮下に注射する。</p> <p>〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉</p> <p>通常、成人にはメポリズマブ(遺伝子組換え)として1回300mgを4週間ごとに皮下に注射する。</p> <p>〈鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎〉</p> <p>通常、成人にはメポリズマブ(遺伝子組換え)として1回100mgを4週間ごとに皮下に注射する。</p>	

詳細は添付文書等をご参照ください。

削除医薬品通知

アブニション静注 15mg	12/3 削除
イロクテイト静注用 500	12/3 削除
トロペロン錠 3mg	12/3 削除

規格変更医薬品通知

変更後	変更前
● <u>12月3日より変更</u> モイゼルト軟膏 1% 28g	モイゼルト軟膏 1% 10g

販売中止による医薬品変更通知

変更後	変更前
● <u>在庫消尽後変更</u> ジアゼパム注射液 10mg「NIG」 リトドリン塩酸塩点滴静注液 50mg「日医工」	セルシン注射液 10mg リトドリン塩酸塩点滴静注液 50mg「F」

供給不足により欠品

ブロマゼパム錠 2mg「サンド」	2024年10月30日 オーダ停止
ソル・コーテフ注射用 100mg	2024年12月5日 オーダ停止

安定供給となった薬品

ポラキス錠 3

適応追加通知

<p>キイトルーダ点滴静注 100mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○悪性黒色腫 ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○非小細胞肺癌における術前・術後補助療法 ○再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 ○根治切除不能な尿路上皮癌 ○がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する固形癌 (標準的な治療が困難な場合に限る) ○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 ○腎細胞癌における術後補助療法 ○再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 ○根治切除不能な進行・再発の食道癌 ○治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸癌 ○PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌 ○ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性で再発高リスクの乳癌における術前・術後薬物療法 ○がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌 ○がん化学療法後に増悪した高い腫瘍遺伝子変異量 (TMBHigh) を有する進行・再発の固形癌 (標準的な治療が困難な場合に限る) ○進行又は再発の子宮頸癌 ○局所進行子宮頸癌 ○再発又は難治性の原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫 ○治癒切除不能な進行・再発の胃癌 ○治癒切除不能な胆道癌 <p>【用法・用量】</p> <p>〈局所進行子宮頸癌〉</p> <p>シスプラチンを用いた同時化学放射線療法との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ (遺伝子組換え) として、1 回 200mg を 3 週間間隔又は 1 回 400mg を 6 週間間隔で 30 分間かけて点滴静注する。投与期間は 24 ヶ月間までとする。</p> <p>〈他〉省略</p>
-----------------------------	---

<p>イミフィンジ点滴静注 120mg</p> <p>イミフィンジ点滴静注 500mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法 ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○進展型小細胞肺癌 ○切除不能な肝細胞癌 ○治癒切除不能な胆道癌 ○進行・再発の子宮体癌 <p>【用法・用量】</p> <p>〈進行・再発の子宮体癌〉</p> <p>カルボプラチン及びタキサン系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはデュルバルマブ(遺伝子組換え)として、1回 1120mgを3週間間隔で、60分間以上かけて点滴静注する。その後の維持療法において、デュルバルマブ(遺伝子組換え)として、1回 1500mgを4週間間隔で60分間以上かけて点滴静注する。ただし、体重 30kg 以下の場合、維持療法における1回投与量は、20mg/kg(体重)とする。</p> <p>〈他〉省略</p>
---	---